



No.30
February.29
2024

朝陽会会報

50周年記念号
<https://www.choyokai.net>

ごあいさつ



朝陽会会長
齊藤 友亮
[1993年卒/17期生]

1期生270名の入学から五十年。二万人余の卒業生を輩出してきた母校宮崎西高等学校は、2023年度、創立五十周年記念事業の様々を実施しました。

先ず以て、幾百幾千という会員の皆様に、御寄附を始めとした様々な支援を頂きましたこと、心より御礼申し上げます。この場をお借りし、五十年という歴史の振り返りと、事業完遂のご報告(本会報P5～8にて詳細)をさせていただきます。

1974年春、大塚の山を削りできた学校には、まだ体育館やプールは疎か、校歌すら完成しておらず、プレハブ校舎だけ。そのような不足した環境の中で、学びを進めた創設期における先輩方の「私たちが成すべきことである」という圧倒的な想いの集積が宮崎西高の基礎を創ってきました。創設の言葉「未知の我を求めて」は、そうした先人の想いがひとつの方向を示したものであり、その意志は後輩へと伝播されています。

建学以来、母校の底流をなす精神は、創設のことば「未知の我を求めて」に集約されています。立ち上がりからこの五十年、私たち宮崎西高卒業生は、時代は変われど「未知の我を求めて」を標榜し、同じ志と熱い想いを紡いできたのです。

樹木が年輪を刻む如きこの紡ぎは、会員個々人の活躍を以て、朝陽会という組織樹も太く大きくしてきました。突出し活躍する卒業生の御尽力により、創立五十周年を、新図書館やフーコーの振り子モニュメントの設計設置、また、山中伸弥教授の講演と、華やかな様々で彩ることができました。

他校を羨むしかなかったあのプレハブ校舎時代から五十年。他校が羨む京都大学iPS細胞研究所との共催シンポジウムを始めとする五十周年記念事業ができるまでになったことを満て、これまでの先輩からの紡ぎの質と方向性に自信も持てました。

今年からまた一年一年、その紡ぎゆく想いは膨らみ、必ずや次に繋がると信じています。2073年、五十年後の未知なる創立百周年に向けて、現役生や未来生の大きな力を加え、朝陽会が更なる大樹となることを期し願い、新春の御挨拶とさせていただきます。



朝陽会とは

朝陽会は、宮崎県立宮崎西高等学校の卒業生を正会員、宮崎県立宮崎西高等学校の旧職員・現職員を特別会員とし、会員相互の親睦と連絡を図り、母校の発展に寄与することを目的とした会です。明日卒業される新入会員の皆さまを加えると、正会員数は総勢21,010名となります。

年間を通じて一番大きな行事は、毎年8月の第二土曜日に開催される全期合同同窓会です。この会は、朝陽会の活動内容について報告・審議する「総会」と、飲食しながら歓談したりアトラクションを楽しむ「懇親会」の二部構成になっています。

開催にあたっては、40歳の方を中心に、10歳刻み(20歳、30歳、50歳、60歳)の方々を幹事学年としてご案内しています。ただ、全期合同同窓会ですので、どの期の方が来られても大歓迎でございます。

また朝陽会には、設立順に関西支部、関東支部、そして福岡支部の3つの支部があります。この全期合同同窓会には、各支部の支部長も出席され、支部の活動状況等の報告もあります。新入会員の皆様とも全期合同同窓会でお会いできるのを楽しみにしております。

なお、こうした同窓会活動は、理事会および学年代表者会、また各支部の理事会を中心に運営されています。興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご一報ください。

一緒に同窓会を盛り上げていきましょう。

about CHOYOKAI

朝陽会 正会員数	1～7期 (66～60歳) 60代 2,844名	8～17期 (59～50歳) 50代 4,737名	18～27期 (49～40歳) 40代 5,004名	28～37期 (39～30歳) 30代 4,258名
	38～47期 (29～20歳) 20代 3,837名	48期 (19歳) 10代 326名	合計 21,006名 <small>※年齢は満年齢 ※物故者含む</small>	

- 主な活動
1. 本会ホームページの運営
 2. 会報及び会員名簿の発行
 3. 母校の後援及び卒業生の入会式
 4. その他、会の目的を達成するために必要な事業

ホームページは
こちら



Facebook
ページは
こちら



第30回

全期合同同窓会が開催されました

開催日:2023年8月12日(土)
会場:ニューウェルシティ 宮崎

第30回(令和5年度)全期合同同窓会を終えて

昨年開催されました全期合同同窓会におきましては、コロナ禍明けにもかかわらず、100名近い同窓生の方にお集まりいただき、厚く御礼申し上げます。

2023年5月に新型コロナウイルスの位置づけが5類に引き下げになったことで、各イベントが少しずつ復活する中、朝陽会としましては、会の開催の可否を慎重に協議し、皆様のあたたかい開催を望む声をたくさんいただいた結果、全期合同同窓会の懇親会を4年越しに開催する運びとなりました。

参加者の中には、遠方から足を運んでいただいた方もおられ、同級生同士の対面での会話にいつも以上に盛り上がりおりました。加えて、世代は違いますが、期

の垣根を飛び越えて、親睦を深めていたことに対し、宮崎西高の絆を改めて感じることができました。

また、今回の会は、コロナ禍のため、懇親会を開催できなかった3、4、5期の方にも案内を行い、参加いただいた方に還暦お祝いの品を贈らせていただきました。諸先輩の皆様をお祝いでき、心から嬉しく思っております。

さて、今年も8月開催に向けて準備を進めております。我々朝陽会の理事も幹事学年の方と協力し合って会を盛り上げたいと思っております。

皆様のたくさんのお越しをお待ちしております。



総会の様子



会長挨拶



各支部長の皆様と!



懇親会では
様々な交流がありました!



3、4、5、6期の方々に
還暦の記念品を
プレゼントしました。



歴代校長先生も
来ていただきました。



卒業生での
セッションも
盛り上がりました。



INVITATION

第31回

全期合同同窓会のご案内

朝陽会では、毎年8月の第二土曜日に全期合同同窓会を開催しています。総会では1年間の同窓会活動の報告と、次の1年の計画他について会員の皆様に説明し、協議・承認をいただきます。その後は、同じ学び舎で勉学やスポーツに励んだ仲間が、世代を超えて交流を楽しむ懇親会です。

以前は満40歳を迎える学年の方が幹事となり、その学年の方が中心となって開催しておりましたが、数年前より年齢の枠を超え、より多くの同窓会会員の皆様にお集まりいただくべく、満40歳になる学年の方に加え、20歳、30歳、50歳、60歳の方に幹事学年として、広くご案内しています。

もちろん全期合同同窓会ですので、会員全員が対象ですが、案内状を郵送するにあたり、2万人近い会員全てにお送りすることは現実的ではありませんので、毎年年代を区切りご案内している次第です。従いまして学年に関係なく、できるだけ多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

参加受付につきましては、6月以降にあらためてご案内いたします。時期が近くなりましたら、HP、Facebook等(本会報P1下部参照)もぜひご確認ください。



第31回全期合同同窓会

2024年8月10日(土)

総会 17:30~ 懇親会 18:00~ (受付 17:00~)

[会場]

ニューウェルシティ宮崎(旧 厚生年金会館)
宮崎市宮崎駅東1-2-8 TEL.0985-23-3311

[会費]

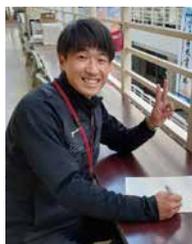
1期~41期生まで6,000円、42期生以降2,000円

幹事のご挨拶

私たちが幹事を務めます！
皆様に会えるのを楽しみにしています

27
期生

主
幹
事



高橋 広興

[2003年卒/27期生]
【普通科 理系】

朝陽会の皆様、日頃より宮崎西高校の発展のためにご尽力いただき、大変感謝しております。私は現在、母校で数学の教員として勤務しております。ちょうど卒業を迎える48期生とともに3年間西高生活を過ごしてきました。私も微力ながら、母校のため、現役の生徒のために毎日奮闘しております。

さて、その中でも、今年度は創立50周年という大きな節目を迎え、私も記念式典に参加させていただきました。式典と共に行われた「宮崎西高×京都大学iPS細胞研究所 共催シンポジウム」では山中伸弥教授をお招きして実際に講演を拝聴しました。また、パネルディスカッションを通して西高の特色の一つであるSSHへの取り組みに対し、多くの学びがありました。このシンポジウムは現役生にとって大変貴重な経験であり、将来に対する影響はかなりの大きかったと感じております。この式典の成功には齊藤会長をはじめ、多くの朝陽会の方々の協力があったのでした。本当にありがとうございました。

48期生の皆様、自分たちの更なる飛躍とともに常に感謝の気持ちを忘れず、将来後輩たちのためにも後押ししてくれるような人間性のある人物へと成長してくれることを願っております。

今後とも朝陽会に携わるすべての方々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

最後に、今年は私たち27期生が幹事学年です。久しぶりにひとりでも多くの皆様とお会いできればと楽しみにしています。27期同志で声をかけていただくと幸いです。

7
期生

副
幹
事



須崎 哲也
[1983年卒/7期生]
【普通科 理系】

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの高校生活は、コロナ禍で戸惑いや混乱の中、大変な苦労の連続だったと思います。その中にあっても目標に向かって前に進み、卒業の日を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私は第7期生で、現在は宮崎県総合農業試験場に勤務しております。宮崎県の農畜産業に携わり30数年になります。仕事を始めた当初は、「食」に携わることの重さに気づいていませんでしたが、店に行けばいつでも新鮮なものが手に入る日常のあたり前は、決してあたり前ではないことを生産の現場を通して見てきました。昨今の異常気象や不透明な世界情勢など、変化の激しい現代において、その難しい課題への対応が求められています。この春卒業の皆さんの中には、私と同じ「食」の分野に進まれる方もいらっしゃるでしょう。農業に限らず、どの分野においても課題は山積みで、新しい発想、新しいエネルギーを待っています。希望に満ちた若い皆さんの力を心より期待しています。

さて、7期生の皆さん、60歳の節目に西高時代の思い出を語り合いませんか。この会報をご覧になった方は、7期生へお声がけいただき、お誘いあわせの上、同窓会へご出席くださいますようよろしくお願いいたします。懐かしい皆さんとお会いできることを楽しみにしております。

17
期生

副
幹
事



榎本 雄介
[1993年卒/17期生]
【理数科】

昭和49年寅年生まれ。今年は、私達の学年の多くが「50歳」の節目を迎える年です。「人生100年時代」と言われるようになりましたが、人生の折り返し点を過ぎたことは間違いないでしょう。

しかも、活動的に動き回ることができる時間は、あとどれくらいあるのでしょうか？ 病気や事故、災害など、人生はいつどこでどんな事が起きるか分かりません。日々多くの患者さんと対峙していると、より一層その想いを強くします。

だからと言って、心配ばかりしていても、不安が募るばかりで何も始まりません。今日一日、明日一日、今この時の一瞬一瞬に全力を尽くし、そして楽しむこと。その積み重ねこそが、豊かな人生を創り上げていくのだと痛切に感じます。

否応なく「人生の残り時間」を意識するようになりました。これからは、やる事の取捨選択もしながら、子や孫や後輩たちに何が残せるのかを追い求めたいと思います。まずは、来年の宮崎西高全期合同同窓会の幹事学年に向け、今年と同窓会を成功裡に終えることだと思っています。

17期のみんな！ 50歳記念にたくさん集まろうぜ！！

37
期生

副
幹
事



渡野 文哉
[2013年卒/37期生]
【普通科 理系】

48期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。令和5年度は、学校創立50周年を迎えられ、卒業を迎えられた皆さんにとっても、宮崎西高にとっても大きな節目の年だったと思います。

私は2013年卒37期生で、令和6年に30歳となる期別です。現在は宮崎市役所で観光行政に携わっております。私たち37期のビクトピック・共通の思い出と言えば、甲子園初出場じゃないでしょうか。私自身は野球部ではないのですが、朝陽会や保護者の皆様のご支援もあり、在校生で現地に応援に行ったのがとても思い出に残っています。

卒業生の皆さんには、これからさらに活動範囲が広がるにつれ、大小様々なライフイベントが待っています。そんな中で西高の同期生との思い出や繋がりというものはとてもかけがえのないものとなります。ぜひ離れても大切にしてください。

さて、同期生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか？ 仕事や結婚、育児などさまざまなライフイベントが押し寄せてくる年代となりましたね。私自身は周囲の結婚・出産ラッシュに焦りを感じております（今のご時世、結婚・出産が全てではございませんが）。本年は我々37期も一端を担い、全期合同同窓会を行います。

皆さんとの交流も楽しみにしておりますので、ぜひ積極的にご参加ください。

47
期生

副
幹
事



有川 悠斗
[2023年卒/47期生]
【普通科 理系】

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。充実した3年間を過ごしましたか。

私は、コロナ禍の中で高校生活を送りました。入学式が終わりクラスのメンバーの名前もうろ覚えな時期での臨時休校。行事は縮小、部活の大会は中止や縮小となったりマスク生活の日常でしたが、今振り返ると充実して満喫できた3年間でした。

私は野球部に所属していましたので、高校時代の一番の思い出は何と言っても最後の夏の大会で全校応援を受け決勝まで戦えたことです。「毎試合これが高校最後の試合だ。後悔のないよう思いっきり楽しもう!!」を合言葉に最後まで野球を楽しむことができました。また、全校生徒だけでなく、多くのOBの方々も応援に駆けつけていただき、西高の絆は大変素晴らしいと肌で感じました。

部活を最後まで続けたことでその後の勉学に励むことができ、今の大学生活があると感じています。本当に充実した毎日を送っています。皆さんも何かを続けることで自分の道を切り開いていってください。

47期生の皆さん、お久しぶりです。卒業して1年が経ちそれぞれの生活を楽しんでいることでしょう。来年は成人式です。ぜひ、大人になった皆さんで集合できることを楽しみにしております。

宮崎県立宮崎西高等学校創立50周年記念事業について

【寄付金のお礼とご報告】

このたびの創立50周年記念事業では、記念式典及び京都大学iPS細胞研究所との共催シンポジウムの開催を始め、学校図書館の整備や科学モニュメント「フーコーの振り子」の設置などを行なってきました。多くの方々から多大なるご支援、積極的なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

いただきましたご寄附につきましては、記念事業の推進などに使わせていただきました。大変貴重なご寄附をいただきました皆様方には、引き続き宮崎西高に対し、温かいご指導とご鞭撻を賜りたくお願い申し上げますと共に、皆様方のご繁栄とご多幸を心よりご祈念申し上げ、頂戴いたしました寄附金への御礼の言葉といたします。

宮崎県立宮崎西高等学校創立50周年記念事業実行委員会



宮崎県立宮崎西高等学校 創立50周年式典

2023.11.25 SAT

私たちの母校である宮崎県立宮崎西高等学校の
創立50周年を祝い記念事業として、
記念式典が令和5年11月25日(土)
宮崎市民文化ホールにて盛大に開かれました。



記念式典

校長の式辞に続き、齊藤友亮 50周年記念事業実行委員長が挨拶。

生徒代表誓いの言葉
(宮崎西高校2年 浜田昊輝生徒会長)

「これからも私達は、宮崎西高校をよりよくするために、
全力で励んでいくことを誓います」



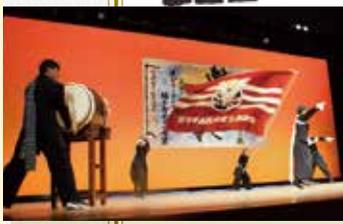
アトラクション

50年の足跡を辿る記録映像の投影に続き、
本校卒業生の国際基督教大学 学長 岩切正一郎氏と、
「かくかくしかじか」などで知られる漫画家の東村アキコ氏より
ビデオメッセージによる祝辞をいただいた。

生徒によるパフォーマンス・発表では、
書道部・ダンス部が躍動感あふれるステージを披露、
中学生・高校生1名ずつの英語弁論が続いては
吹奏楽部が勇壮な音色を奏でる。
最後は応援団による力強いエールで締め括られた。



司会は、本校卒業生
MRT宮崎放送
藤島由芽アナウンサー



校歌を作詞された
南邦和氏も来賓として
来場されました

記念式典およびアトラクションの様子は
こちらからご覧ください。



宮崎西高等学校

京都大学iPS細胞研究所(CiRA)

共催シンポジウム

宮崎・九州から世界へ

ノーベル賞受賞者 山中伸弥氏 講演

シンポジウムの模様は
こちらからご覧ください。



第1部 講演
第2部 パネルディスカッション



“iPS細胞が開く新しい医学”

京都大学iPS細胞研究所名誉所長・教授 山中 伸弥



講演要旨

山中さんの歩み、モットー

高校生の頃に元氣だった父親が原因も治療も不明な病気に
かかり、その影響で医学に興味を持ち医学部を志望。1987年に神
戸大学医学部を卒業し、研修医となる。結局、父親の病気は治療
法が見つからないまま亡くなり、その経験が医学研究者としての道
を歩むきっかけとなった。

1989年にアメリカの研究者によって父親の病気がC型肝炎ウイル
スであることが判明し、2014年には画期的な治療薬が開発され
た。私たち医学研究者はこういうことを目標に日々頑張っているが、
医学研究の課題として「時間」と「お金」という2つの大きな問題を

抱える。将来的な治療法の提供において、良心的な価格で提供で
きるかが重要である。

その後、研究者としてアメリカ留学に行き様々なことを学んだ。一番
は生きていく上でのモットー「Vision & Work Hard」。目的を持って
懸命に努力する。自分が一生かけて達成したい長期目標=Visionを
作ることができたら、あとはそれに向かってWork Hardしていくことが
大切。留学中に会ったもうひとつの出会い=ES細胞(胚性幹細
胞)。ネズミの受精卵から作られ、万能細胞ともいわれる。

→英語を学び、海外へ行く。

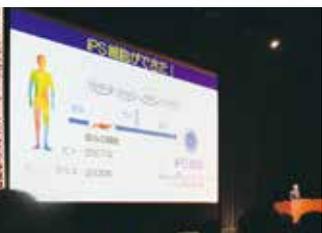
帰国後、1999年に奈良先端科学技術大学院大学での研究リー
ダーとして独立。研究室のVisionとして、受精卵を使わずに「皮膚
の細胞から万能細胞を作る」ことを掲げ、学生とともにWork Hard
で研究を続けた。また大学には、医学・動物学だけではなく、植物
やコンピュータ、ゲノムなど様々な分野の研究者が同じ建物に集ま
り、横の繋がりができたことも大きかった。特に社会に出ると、異分
野の人と交流し話をすることが大切。

その後京都大学へ移り研究を続け、
2006年にES細胞に瓜二つの万能細胞
=iPS細胞(人工多能性幹細胞)を作り出
すことに成功。一緒に作ったのは研究所
の若い研究者等。当時皆20代で彼ら無し
には成し得なかった。まさに若さは力。

現在は京都大学iPS細胞研究所(CiRA)にて「iPS細胞の医療
応用を目指す」ことをVisionに約600名のチームで活動。様々な病
気に対する臨床試験を、専門的な研究者・医師の協力のもと行っ
てきた。しかし私たち研究者ができることはここまでで、より多くの患
者さんに治療を届けたい。そのためには製薬企業の協力が不可欠
で、実用化に向け「公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団
(CiRAF)」を2020年に設立(山中氏が理事長)。「最適なiPS細
胞を良心的な価格で届ける」ことをVisionとし、大学と企業の橋
渡しを行っている。

京都大学iPS細胞研究所は設立13年を迎え、今は若い世代が
主任研究者として活躍している。その中の一人、小田裕香子准教
授に私とは違った観点でこれから話をさせていただくので、そちらもお
楽しみに。

山中さんの Vision & Work Hard





“CiRAの研究所リーダーになるまで”

京都大学iPS細胞研究所准教授 小田 裕香子



講演要旨

小田さんの歩み、モットー

地元の公立高校卒業後に京都大学農学部へ進学、農学部4回生時の卒業研究を行う際に研究の楽しさを知り、大学院理学研究科へ進み5年間研究に励み、充実した日々を送る。

————— 大学院時代の恩師二人の言葉が、心の基礎に —————

- 研究者として身を立てるには、**新しいモノ or 技術 or 概念**が重要
- 大股で歩かないといけない=小さなことはせずに**革新的な**ことをする
- 「名前」「顔」「仕事」を一致して覚えてもらえるようにならないといけない

大学院卒業後、助教として就職するも自分の思う研究者像に近づけないなど紆余曲折を経て、35歳の時に自らの研究テーマに辿り着く。少しずつ結果を積み重ねて、細胞同士の接着を促し組織修復に貢献する「ペプチド」の発見に至る。

小田さんからのメッセージ

自分軸で決める

自分で腹をくくって決めたことは乗り越えられる。どんな結果でも納得できる形で人生を歩める。

己を知る

いろんな経験をして、いろんな人と関わって、自分の扱い方を知る。

案ずるより産むが易し

出産・子育てはなんとかなる。しんどくなったら誰かが助けてくれるし、社会全体のサポートも手厚くなっている。

研究員を目指す人へ

大切なのは「わかっていないこと」「こうしたら良くなる」を見出す力。

————— 道半ばですが、ここまで振り返って… —————

- 気持ち次第でどのようにも人生を動かせる
- 苦しかったように思える時期こそ、深く考える機会になった

未来を選んで挑戦して、チャンスが来たらうまくつかまえられるように、これから社会に出てうまくいくように、応援しています！

パネルディスカッション

パネリスト：山中 伸弥教授・小田 裕香子准教授
宮崎大学医学部生・宮崎県内高校生
コーディネーター：京都大学iPS細胞研究所国際広報室
三澤 和樹氏

講演内容に関する質問や身近な日常の悩みなど参加学生の問いに対し山中教授と小田准教授もそれぞれの立場から真摯に答えただき、活発な意見交換が行われた。



50周年記念事業の紹介

「ART(感性)の拠点」として 学校図書館リニューアル

このたび50周年を機に、図書館が新しく生まれ変わりました。生徒自らの探究を支える場として、学びを通して自己をプロデュースし、仲間とのアグレッシブな活動から新たな自分を発見していく。そのために学習シーンに応じたアクティブな可動式家具やスクリーン、自己を見つめる窓面デスク、そしてすべての根幹である豊富な情報源が生徒に寄り添います。



「STEM(理性)のシンボル」として 『フーコーの振り子』設置

『フーコーの振り子』はフランスの物理学者フーコーの名を取って名付けられたもので、地球の自転を目に見える形で証明しています。国立科学博物館をはじめ、世界中の博物館や研究機関で科学の象徴として展示されており、本校でも50周年を記念するモニュメントとして管理棟1階に設置されました。生徒たちもきっと何かを感じ、学んでくれることと思います。

創立50周年記念誌 発刊

本校50周年の歴史を当時の写真や記録、卒業生インタビューや対談を交えて振り返る本編をはじめ、各種学校活動の歩み、資料編、現役生徒担当のページなど、50年の歴史が詰まった読み応えのある一冊となっています。朝陽会会員の皆様のご協力を得て発行することができました。改めて感謝申し上げます。



生徒のデザイン案を採用 50周年記念ロゴ作成

記念ロゴ作成にあたり全校生徒にデザイン案を募り、ユーモアのあるものから厳格さを感じさせるものまで約90点の作品が集まりました。その中から3年1組の野邊風紗さんのデザイン案をもとに、記念ロゴが作成されました。校章と50周年を表す「50th」を合わせた本校らしいデザインとなっております。



CHOYOKAI TOPICS

朝陽会会員からのメッセージやお知らせを掲載します

TOPIC

1

俳優の道本成美さん(37期生より)同窓会へメッセージをいただきました



道本 成美

[2013年卒/37期生]

皆様、お久しぶりです。

37期生の道本成美です。西高での日々がつい最近のことのように感じられますが、時の速さに驚きと恐れを感じています。

私は西高を卒業後、陸上自衛隊の看護学生過程に入隊しました。充実した日々ではありましたが、20歳を超えて人生を見つめ直した際、どうしても1度やってみたかった「お芝居」という道に挑戦しないまま人生を終えるのが耐えられず、考え悩んだ末、約5年間勤めた自衛隊を辞めて俳優に転身しました。高校時代は人前に出るのが苦手でしたが、西高の同級生に夢を話すと、心からの応援の言葉をもらい、

とても救われました。

そして先日、ありがたいことに私の主演映画「FPS」の上映と舞台挨拶を宮崎でさせていただいたのですが、現役西高生、同窓生の皆様が作品を広めてくださると同時に、舞台挨拶にも駆けつけてくださいました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました！

人生のターニングポイントで、いつも西高の同級生に助けられています。そしていつになってもダメ出しをしてくれます。笑 それもなんだか嬉しいものです。笑

皆様、どうかお元気で。是非同窓会でお会いしましょう！

カトレア 日高慶子さん(26期生) 紅白で演奏

第30回全期合同同窓会の懇親会で演奏していただいたカトレアの日高慶子さん(26期生)が第74回NHK紅白歌合戦で、JUJUさんのバックでカルテットでの演奏をされました。

皆様、応援よろしく申し上げますm(__)m

◆ catorea(カトレア) ◆

日高亜美(姉/Piano)と日高慶子(妹/Violin)からなる姉妹Duoです。
<https://www.catorea.com>



全期合同同窓会 懇親会での演奏の様子

TOPIC

2

TOPIC

3

宮崎西高医師の会 活動報告



「宮崎西高宮崎県医師の会」は、2023年11月23日、母校視聴覚室で、医学部や医療系学部を目指す宮崎西高生70名を対象に医師講話をおこないました。

講話には、1期～17期までの宮崎西高卒業生の医師5名が参加し、各々が15～20分程度で講話をおこない、自身の高校時代の話や、医学部を目指した理由、医師となつての日々や想いなどを、参加生徒に向けて話をしました。

後輩たちは、真剣に、食い入るように聴き入ってくれ、講演後の質疑応答には、たくさんの生徒が質問の手を挙げてくれました。

「宮崎西高宮崎県医師の会」は、後輩たちの多くが医師となり、地域医療に携わってくれることを願っています。

先輩からの Message

朝陽会会員の方々から

卒業生に向けてメッセージが届きました

①高校時代一番の思い出 ②高校時代の部活動 ③卒業後の進路 ④現住所 ⑤現在の職業

若松 公一 [1979年卒/3期生]【普通科 文系】

①2年生の時に合唱コンクールで優勝(全学年中)したこと ②帰宅部 ③宮崎大学 教育学部 中学課程 英語科
④宮崎県 ⑤宮崎西高校教諭(英語)



昭和54年(1979年)1月、我々宮崎西高3期生は「共通一次試験」(後のセンター試験→現在の共通テスト)の第1回目の受験生として、確か宮崎大学工学部(当時は宮崎市船塚町・現JAアズムホール)で全員受験した記憶があります。この年の4月に大学に入学し、あれから45年の月日が流れました。

高校の英語教員として県内5つの高校に勤務し、3年前に退職、再任用先が母校西高でとても嬉しく思いました。が、それも束の間、早速「50周年事業担当リーダー」に任命されていて、「あーそう言えば西高も50周年だった。しかしよりによって記念すべき大きなイベントの校内担当者になるとは!」と、高校時はリーダー的な存在でもなかった自分が何の巡り合わせで…と責任を感じました。

しかしこうなったら、英語教師になる夢を叶えてくれた西高に恩返しをしなければ、と頑張り、昨年11月25日(土)、同窓会長初め、多くの関係者の方々のおかげで50周年行事を無事終えることが出来ました。思えば新設校として知名度もない中、他の進学校を追いかけながら皆勉学に頑張った(頑張らされた?)高校時代の日々から半世紀、我が母校の発展には本当に感慨深いものがあります。

卒業生の皆さん、これから宮崎西高校を誇りにして、大きく羽ばたいてください。

ちなみに私は毎年3月になると、自分たちの卒業式の頃に流行った倉田まり子さんの「グラデュエーション」という曲をYouTubeで聴いて懐かしんでいます。

*写真:留学時22歳→再任用63歳。毛量は減っても情熱は減っていない(つもり)

堀内 カズ代(旧姓杉野) [1985年卒/9期生]【普通科 理系】

①勉強がしんどかったこと ②吹奏楽 ③熊本大学教育学部 看護科 ④京都府 ⑤障害者の方の相談員



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私は長年看護師をした後その経験を活かし、障がいをお持ちの方の生活や健康を支える相談員の仕事をしています。

障がいをお持ちの方の生活には、いろいろな方が関わっています。車椅子を押ししたり体を拭いたりする方々だけではありません。体に合う車椅子や装具を作ったり、使えるパソコンマウスを開発したりなど、福祉の知識がない方々も多方面から支えてくださいます。

皆さんは、将来どんな仕事がしたいですか? どんな仕事に就いても、それを受け取る人の気持ちを想像する事を忘れないでください。皆さんの知力とアイデアと優しさで、いろいろな人を支えてください。

新型コロナに耐えて頑張ってきた皆さんは、きっと素晴らしい活躍をされると思います。

古賀 弘邦 [1984年卒/8期生]【理数科】

①クラスの仲間が個性派揃いで楽しかったこと ②なし ③九州大学工学部電子工学科→大学院(工学研究科情報工学専攻)
④福岡県 ⑤RKB毎日放送 技術職



ご卒業おめでとうございます。

私は高校卒業後は、大学で硬式テニス部に所属し、テニス中心の学生生活を送り、生涯付き合える多くの友人を得ることができました。現在もテニスを通じて新たな人脈を広げ、人生を豊かにしています。

大学卒業後は福岡の放送局で技術職として勤務し、重要インフラである放送を一秒でも中断させない為に、日々、放送機器の安定稼働に力を尽くしました。

また、番組制作にも関わり、ニュースや夕方ワイド番組でカメラワークや音声ミキシングなどを通して、番組の映像音声をわかりやすく、クリアな放送品質で制作することに注力しました。特に、野球やマラソンなどのスポーツ中継では球場や中継車から臨場感を、事件や災害報道では迅速、正確に現場の状況を伝えました。

オンエア(生放送)中は秒単位で状況が変化し、かなりの緊張感がありますが、無事に番組を終えたとなんともいえない達成感があり、厳しいながらも仕事を通して様々な体験ができました。

現在は、サイバー攻撃の防御など社内システムの仕事をしています。

皆さんも今後様々な経験をされることと思います。宮崎西高卒業生であることに誇りを持って、それぞれの道を切り拓いてください。

楠原 章央 [2009年卒/33期生]【普通科 理系】

①修学旅行でバンクーバーに行った時、世界の大きさに衝撃を受けたこと ②硬式テニス ③九州工業大学 情報工学部 ④東京都 ⑤IT関連会社経営



ご卒業おめでとうございます。

私の高校生活は、部活動に打ち込む日々でした。今でも西高の前を通ると、青春時代を懐かしく思います。

大学は九州工業大学に進学し、ソフトバンクグループに新卒入社しました。5年間、法人向けの営業マンとして邁進した後に、独立しました。“兎に角やれば、何とかなるだろう”という謎の自信から経営の世界に飛び込みました。そんなガムシャラ期を経て、今はソフトウェア開発や貿易などいくつかの事業を行っています。今後は国境を超えたビジネスに挑戦していきます。

まだまだ経験としては未熟ですが、私が感じていることを共有します。

1つ目は「求めよ、さらば与えられん」です。何事も一所懸命に取り組んでいると、やがて機が巡ってくるものだと日々実感しています。

2つ目は「人を大切にする」です。ご縁は巡り巡って大きな力になります。関わる人々に感謝し、心を込めて接することが大事だと思っています。

最後は「自分らしく在ろう」です。自分らしく在ることは、自分の人生を良い方向に切り拓いていけるものだと思います。何か迷ったときは、サウナ活動や瞑想でも試してみても(笑)、自分に問いかける時間を持つのもいいと思います。

高校卒業後は本当に多くの選択肢があります。みなさんがチャレンジ精神と自責の念を持ち、西高での出会いを糧に、次のステージで活躍することを願っています。何かお役に立てることがあれば、お気軽にご連絡くださいね!

朝陽会の学年リーダーである
学年代表者から
メッセージとお知らせです

学年代表者便り



朝陽会会員の皆様におかれましては、
益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、本年ご卒業を迎えられた皆様には
心よりお祝いを申し上げます。

さて、令和5年度「全期合同同窓会」に
つきましては、理事会や各支部さらには担
当していただきました学年代表者の皆様
のご協力により、令和5年8月12日に宮崎
市のニューウェルシティ宮崎にて多数の
会員の皆様ご集集のもとコロナ禍で開催
できなかった懇親会も含めて盛大に開催
することが出来ました。

なお、本年も8月10日(土)に「全期合
合同同窓会」が開催される予定となっております。今回は7期、17期、27期、37期、

47期の学年代表者の皆様を中心に準備
を進めていただくことになっておりますので
多くの会員の皆様の参加をお願い申し上げ
ます。

学年代表者会議は、理事会及び各支
部と連携して朝陽会会員相互の親睦を図
り、母校の発展に寄与するという朝陽会
の目的を達成するために設立されたもので
す。しかしながら、その名簿には空白となっ
ている卒業期もあり、組織としては未だ発
展途上の段階にあります。昨年、創立50
周年の輝かしい節目を迎えた宮崎西高等
学校の朝陽会学年代表者が益々充実
した組織となりますよう、会員の皆様のご
協力をお願い申し上げます。

学年代表者会 議長から



議長

富川 篤史

【1978年卒/2期生】

本年度ご卒業を迎えられる皆さまには
心よりお祝いを申し上げます。

また、朝陽会会員の皆さまにおかれまし
ては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げ
ます。

私は、3期生。私達が入学してやっと3
学年そろいました。当時は周囲の団地も
まだ造成中でした。あれからもう50年が
経とうとしています。時が経つのは早いも
のです。

私は、これまでに何回となく「はなむけ」
の言葉を話す機会がありました。いつも
言っているのは、「これから色々な事にチャ
レンジしてください」ということです。少しで
も興味があることがあれば、積極的に出向

いて行って、見て、聞いて、感じてほしいの
です。その経験・出会った人々は必ずその
後の人生に役立つ大きな宝物になります。
そして、その中から、生涯とおして付き
合える「友達」が見つかるかもしれません。

私が見つけた「友達」は写真です。初日
の出、梅、桜、蛍、天の川、火花など写真
撮影を通して季節の移り変わりを感じるこ
とができます。その瞬間をどのように、どう
切り取るかは自分次第、毎回毎回あした
ら、こうしたらと奮闘しながら撮影を楽しん
でおります。とても奥が深いですよ。

そして最近、なぜか手元にウクレレが…
皆さまも色々なことに首を突っ込んで生
涯の「親友」を見つけてください。

学年代表者から

学年代表者

合原 敏幸

【1979年卒/3期生】

【普通科 理系】



合原さんが撮影した写真

学年代表者を募集中!

現在、同窓会活動のさらなる充実を図るため、
学年代表者を募集しております。宮崎西高を卒
業された方で、少しでも同窓会活動にご興味のある方、この機会に一緒に活動してみませんか?

自薦他薦どちらでも大歓迎です。ご協力をお願いいたします

お問い合わせ choyokai.miyazaki@gmail.com

学年代表者会議のご案内

2024年6月1日[土]

会場：未定(4月下旬頃確定)

各学年代表者には、4月以降に出欠の
確認連絡をいたします。

学年代表者とは?

学年代表者とは、宮崎西高の卒業生として、同窓会(朝陽会)を盛り上げていただく、学年ごとのリーダーのことで

す。各学年の学年代表者は、卒業前に(高3の時)決めてもらっています。(※もちろん、卒業後、長い年月の中では各々の都合で代表者が変わることもあります)。

毎月6月の第一土曜日に、学年代表者会議が開催され、1期生から3月に卒業したての学年代表者までが一堂に集まり、親睦を図りながら、朝陽会活動を中心とする様々な情報交換をします。議長を中心に和気あいあいとした会合です。

また、8月の第二土曜日に開催される全期合同同窓会においては、40歳になる期を主幹事、前後10年毎の期を副幹事とし、総会および懇親会の成功に向けて、担当者が打ち合わせを進めています。会員の皆様のご支援・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

関西支部

支部長 **中原 薫**

【1986年卒/10期生】【普通科 文系】

第19回 朝陽会関西支部総会・懇親会

2024.7.28

大阪難波
道頓堀ホテル

✉ choyokaikansai@gmail.com

📘 朝陽会関西支部 @choyokaikansai

朝陽会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本年ご卒業される皆様に対しましては心よりお祝い申し上げます。朝陽会本部・関東・福岡各支部におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

朝陽会関西支部は2005年(平成17年)から活動を始め、今年で19年目を迎える最も歴史の古い支部です。毎年7月に総会・懇親会を開催している他に、不定期のてげげ会(懇親会)を開催しております。また還暦を迎える卒業生にはお祝いの品を贈らせていただいております。

昨年は創立50周年記念事業にあたり関西支部の皆様への募金呼びかけ等大変お世話になりました。令和5年11月25日の記念式典には関西支部より2名参加させていただきました。アトラクションでの書道部やダンス部、吹奏楽部の熱演や流暢な英語での発表など素晴らしいです。また、山中伸弥先生たちとのシンポジウムでは、堂々と自分の意見を述べている西高生たちを見てとても誇らしく思いました。私が卒業した1986年(昭和61年)当時では、とても考えられないほどでした。

さてこの度関西支部では支部長が交代致します。3支部の中で初めての女性支部長となる和田恵美子さん(5期生)が今後支部長を務め

せていただきます。私は2014年(平成26年)11月の創立40周年記念式典に初めて関西支部から理事として参加させていただき、昨年で理事就任からちょうど10年を経過しました。支部長は支部の会員の交流を深めるという重責を持っており、なかなか苦戦した10年間で数々の失敗も経験しました。またコロナ禍のなか理事会懇親会の中止を余儀なくもされました。このような新しい時代の中で、理事会でのハイブリッド方式導入などの工夫も続けて参りました。これからも、関西支部理事監事一同で、関西地区の卒業生との交流を深めていく所存です。

今年に関西支部総会・懇親会を7月28日に開催予定です。関西地区の大学・大学院へ進学された皆様、これまで関西支部の行事に参加されたことのない関西地区在住の卒業生の皆様、転勤や出張等関西方面でお仕事をされる皆様も、是非、メールやFacebook公式ページでご連絡ください。西高時代の思い出、大学・大学院で研究されていること、自分が今携わっているお仕事のことなど大いに語り合ひましょう。たくさん卒業生からのご連絡をお待ちしております。



関東支部

支部長 **狩俣 努**

【1986年卒/10期生】【普通科 理系】

第15回 朝陽会関東支部総会・懇親会

2024.7.6

未定

✉ choyokai.kanto@gmail.com

📘 朝陽会関東支部 @choyokaikanto

本年ご卒業される皆様に心よりお祝い申し上げます。

朝陽会関東支部は2008年7月の第一回総会から同窓会活動を本格的に開始し今年で17年目を迎えます。支部の歴史については、西高50周年記念誌の最後の方の支部ページでも紹介されています。

昨年の支部総会・懇親会はコロナ禍明けの本格開催として大きな会場を探し、74名を迎えて開催しました。朝陽会ゆかりの企業(個人)から協賛頂いた品々を巡る抽選会&じゃんけん大会や、現役西高生の四校定期戦ニュース動画などで大いに盛り上がり



ました。最後は西高自慢の校歌の合唱。歌詞も音楽も雄大でホントに元気が出ます。宮崎弁の飛び交う空間に浸り、徐々に絆・ネットワークを深めて、皆様満足そうな笑顔でした。

今年の総会・懇親会は7月6日(土)の開催予定です。昨年よりも広く充実した会場で100名規模での開催を計画していますので、GW以降に西高HPの朝陽会リンクや上記Facebookでご確認ください。先輩・後輩・同級生お誘い合わせの上ご参加ください。

関東支部の活動のコンセプトは、「同窓生同士の幅広い交流&人的ネットワークの拡大」です。堅苦しさや形式は存在しません! 進学・就職・転勤等により関東圏に移られる皆様、出張でお越しの皆様、関東支部(上記メアド)や各理事に遠慮なくご連絡ください。

福岡支部

支部長 **内田 真滋**

【1986年卒/10期生】【普通科 文系】

第7回 朝陽会福岡支部総会・懇親会

2024.7 上旬

未定

✉ choyokai.fukuoka@gmail.com

📘 朝陽会福岡支部 @choyokai.fukuoka

朝陽会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、本年ご卒業される皆様に対しましては、心よりお祝い申し上げます。

昨年は創立50周年記念行事が盛大に挙行政され、この節目の年に卒業生として立ち会えたことは大変光栄でした。特に、全員と一緒に歌った校歌は心に響き、当時の思い出が蘇りました。これからも母校を応援し、共に新たな歴史を刻んでいきたいと思ひます。

さて、福岡支部は2014年11月に発足し、10年目を迎えます。昨年の総会・懇親会は7月に開催し

ましたが、コロナ禍を乗り越え、再び皆様と直接お会いできる喜びは計り知れませんでした。また、昨年卒業した大学1年生も参加してくれて、新鮮な風が吹き込み、活気ついた大変有意義な時間でした。

今、この会報を見ている卒業生の皆様のうち、福岡近郊で新しい生活を始められる方へ。OB会なんて面倒くさいと思っているかもしれませんが、親元を離れ不安なことも多々あると思います。同じ校舎で学んだ先輩としていろいろお手伝いできると思ひますので、是非、連絡してください。

また、就職・転勤によって福岡支部圏内在住予定の皆様、是非お気軽に当事務局までご連絡ください。

なお、今年の総会も7月に開催予定です。普通に集まれる喜びをたくさん卒業生と一緒に過ごせたらと思っています。一緒に校歌を歌いましょう。皆様のご参加を待っています。

卒業生の皆さま、ご卒業おめでとうございます。50周年というこの節目に卒業される皆さまは、入学当時から見えない病原菌と戦い、大変な3年間を過ごされたことでしょう。新天地に行かれてもこの3年間の頑張り支えになってくれます。全国の朝陽会会員も、新会員になられたあなた達を助けてくれます。今後のご活躍を心より応援申し上げます。それでは同窓会でお会いしましょう。宮崎県立宮崎高等学校 同窓会 朝陽会 〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町柳ヶ迫3975番地2 TEL.0985-48-1021